

# 令和2年度 食形態検討会

健康教育部

<日時>令和2年7月2日、3日、14日、15日

<内容>①食事の様子について（ビデオ視聴及びチェックリストの記入）

②食機能の発達段階の確認

③食形態の確認

④指導方針の確認（介助方法、再調理や配膳の工夫など）

食形態検討会は、小学1年生や食事に関する配慮が必要な転入生などについて、食機能を評価し、安全で発達を促すための適切な食形態や指導目標の確認をするために毎年行っています。参加者は、学校給食係や担任のほか、自立活動アドバイザー、養護教諭、栄養士、専門性を有する教員（SKET）、外部専門家（療育センター耳鼻咽喉科医師）など、いろいろな視点から検討できるよう多数のメンバーで行っています。

今年は新1年生9名のほか在校生2名の計11名について、食事の様子を撮影したビデオをもとに検討会を実施しました。一人一人のお子さんについて、口の動きや飲み込みの様子、再調理の方法や介助の仕方などについて、丁寧に検討がなされました。日ごろの給食の指導に生かしていきたいと思えます。

## <検討会の様子>

ビデオを見ながら、食べているときの口の動きや姿勢などをチェックします。



## こんなチェックリストを使っています

	項目
摂り込む時	食べ物の大きさに合わせて口をあけることができるか
	上唇をおろして摂り込むことができるか
	舌の突出がないか
食べている時	口唇閉鎖ができるか
	口角が動くか
	舌が動くか
	顎が動くか
飲み込む時	口唇閉鎖ができるか
	舌の突出がないか
	むせがないか

